

■部会便り

技術部会 系統連系WGの活動紹介

日本風力発電協会 理事 系統連系 WG グループリーダー 鈴木 和夫
株式会社 日立エンジニアリング・アンド・サービス

系統連系ワーキンググループは、技術部会の中にあつて、約20名の委員により①電力系統に連系して運転する風力発電設備の連系に係る技術要件の情報収集及び会員への連絡、②経済産業省資源エネルギー庁の進める系統連系対策小委員会関連の系統連系問題に関する各委員の皆様からの意見集約とそれに係る勉強会を進めています。

1. これまでの主な活動内容

(1) 2005年度

月/日	主な活動内容
6/21	年度方針打合せ
7/19	エネ庁系統小委、NEDO 報告書勉強会
8/22	蓄電池併設検討課題協議
10/18	エネ庁委託蓄電池 WG 検討会参加決定
11/15	蓄電池 WG ヒアリング／プレゼンテーション
12/20	蓄電池 WG への JWPA 意見書集約 パークマネジメント機能活用提言
1/17	蓄電池 WG への JWPA 内意見書取り纏め
2/17	蓄電池 WG への JWPA 内意見書取り纏め
3/17	東北電募集対応アンケート実施、蓄電池容量低減策取り纏め
4/17	活動内容取り纏め

(2) 2006年度

月/日	主な活動内容
3/17	発電事業者懇話会殿と共同で第一回会社間連系線活用勉強会
6/2	第二回会社間連系線活用勉強会
7/13	第三回会社間連系線活用勉強会 (電力利用協議会活動内容紹介) (専門有識者による技術講演)
8/29	第四回会社間連系線活用勉強会
9/28	第五回会社間連系線活用勉強会 (専門有識者による技術講演)
10/17	今後の活動方針協議
11/14	WF 分散配置による出力平準化検討
12/19	最近の欧州の系統連系勉強会 (予定)

2. 資源エネルギー庁“系統連系対策小委”の基本方針と現在の進行状況

(1) 周波数変動対策オプション ('06年)

No	検討項目	概況
1	風力連系量の正確な把握	・九電は、本年発表 ・他電力は、'07年発表予定
2	解列枠の募集	・北電、東北電が本年募集開始
3	蓄電池等の導入	・東北電が本年募集開始
4	会社間連系線の活用	・来年度以降の系統小委で検討予定
5	調整力拡大向け電源運用	・来年度以降の系統小委で検討予定
6	変動制約小地域へ導入促進	・NEDO 洋上風力 FS を JWPA が受託
7	発電量予測システム開発	・NEDO 予測システム開発進行中

(2) 現状の連系量の状況

本年度のエネ庁/NEDO の補助金採択結果を見ると、約700MW採択されており、過去の採択結果及び既設連系量を合わせると、今年度までの計画量としては、約2,000MWの導入が決まったレベルにあります。

このため、2010年の3,000MWの導入目標及び、現在見直しが進む2014年の導入目標達成のためには、上記導入促進に伴う系統連系対策の更なる突っ込んだ議論と対応が必要であると考えられます。

3. その他

技術部会系統連系ワーキンググループは、本年夏より斉藤副代表に代わり、鈴木がグループリーダーを担当することになりました。

毎月の定例活動は、継続実施しておりますので、委員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。